

八王子市地域共創アイデアソン 各チーム発表概要

はちプロに、おれはなる！ BINGO

グループNO

1

グループ名

シシマイ

選択テーマ

A：若い世代が生まれ育った地域に戻ってきたくなる、地域でできるアイデア

背景と課題

背景

1.若者の地域への帰属意識の低下

若い世代が地域に愛着を持てておらず、「地元に戻る気がしない」「地域への愛着があまりない」といった声の存在

2.幼少期からの愛着形成の必要性

幼少期から地域に対して特別な思い出や愛着を持つ体験の不足が地元回帰の妨げに

課題

1.若者の地域愛着不足

地域に愛着や興味を持てない若者の増加

2.若い人材の不足

交通の利便性が低い地域があり、高齢化が進む中、地域活動を支える若い世代の参加の不足

プロジェクトの目指す未来

1.地域への愛着を高め、地域に「戻りたい」「住み続けたい」と思える若者を増やす

2.地域活動の担い手を育成し、高齢化社会への対応力を強化

3.八王子の魅力を広め、地域全体の活性化につなげる

具体的なアイデア

1. ビンゴカードを活用した体験プログラム

出生届提出時に「八王子ビンゴカード」を配布

- ・カードには地域の名所や文化体験をリストアップ
(例) 高尾山、浅川、八王子まつりなど
- ・対象年齢は0歳から義務教育終了まで
- ・ビンゴカードをコンプリートすることで八王子の魅力を楽しく学ぶ

2. 地域でのゲーム感覚の活動

地域イベントを活用し、参加者が自主的に楽しめるゲーム形式の体験を設計

(例) イベントに参加してビンゴカードのマス埋めていく仕組みを導入し、子どもたちが主体的に関与できる工夫を施す

(例) 八王子まつりを参加型イベントに変革

- ・見学ではなく、体験型の取り組みを導入
- ・ゲーム感覚で楽しめる企画をSNSで拡散し、若者世代の興味を喚起

背景と課題

背景

八王子から若い世代が離れ、戻ってこない問題の存在

課題

1. 地元企業の認知度不足

八王子にはオリンパスや明治などの大企業があるにも関わらず、地元の人々にその存在や魅力が十分に知られていない

2. 誤解による機会損失

地元には仕事がない、またはやりたい仕事が見つからないという誤解の拡散

3. 仕事・子育て環境の課題

交通の利便性は悪くないものの、仕事や子育てに関する環境整備が不十分
若い世代の地域定着を妨げている

プロジェクトの目指す未来

1. 地元企業と住民のつながりを強化

2. 地元への関心が高まり、若い世代が地元に戻る動機が生まれる

3. 地域全体の活性化につながり、八王子の魅力がさらに広がる

具体的なアイデア

1. 工場見学や職場体験の実施

- ・地域の子どもや住民を対象にした企業工場見学や職場体験プログラム
- ・企業が地域イベントに出向き、仕事内容や製品を紹介
- ・地元企業への理解が深まり、若い世代の地元への興味を引き出す

2. 秋のイベントの開催

- ・行政や町会と連携した地域全体のイベントを企画
（例）企業製品の試食会、ワークショップ、スタンプラリー形式のイベント
- ・地域全体が盛り上がり、企業と住民が交流するきっかけを提供

3. 給食での地元企業製品の活用

- ・明治のヨーグルトなど、地元企業の製品を学校給食に取り入れる
- ・子どもが地元企業を知るきっかけになり、企業への親しみが育まれる

4. SNSでの発信と共感の醸成

- ・地元企業がSNSで魅力的な情報を発信（製品情報、働き方紹介、地域イベントなど）
- ・高校生や大学生がシェアしたくなるようなストーリー性のあるコンテンツを制作

背景と課題

背景

地域の結びつきが弱くなり、ボランティア参加者が不足している現状を課題と認識

課題

義務感や負担感の存在

ボランティア活動が「義務感」や「負担」と感じられることが参加率低下の原因

忙しい日常生活

仕事や家事、育児で多忙な人々が、休日にボランティアよりもレジャーや家族との時間を優先する傾向

ボランティアの魅力不足

現状のボランティア活動に楽しさや魅力が不足しており、参加へのモチベーションを生み出せていない



具体的なアイデア

1. レジャー要素を取り入れたボランティア活動

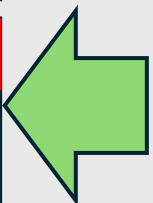
- ・ゴミ拾い×散策企画：子供食堂への道中でゴミ拾いをしながら、楽しく目的地へ向かう
- ・地域探検ツアー：地元のおいしいお店や隠れた名所を巡るボランティア活動を企画
- ・期待効果：参加者が地域の課題解決に貢献しつつ、楽しめられる仕組みを提供

2. 地域交流の場づくり

- ・地域の学校や公民館を活用し、世代を超えた交流の場を提供
(例)高齢者と子どもたちが集うカフェ、フリーマーケットの開催

3. 「気軽さ」と「楽しさ」を軸にした参加型企画

- ・誰でも気軽に参加できる入口を提供
- ・最初は軽いレジャー感覚で参加し、徐々に本格的な地域活動へとつなげる仕組みを構築
- ・継続的な活動につなげる仕掛けを構築（例：スタンプラリー形式）



プロジェクトの目指す未来

1. ボランティア活動を「楽しめるレジャー」として再定義し、地域の絆を深める場を創出する
2. 緩やかなつながりのある地域コミュニティを目指す
3. ガチガチに縛られた関係ではなく、自然体で助け合える関係性を醸成
4. 「お互いに手を差し伸べられる」地域を実現

若手インターンのメッカを目指すPJ

グループNO

4

グループ名

八王子ドジャース

選択テーマ

A：若い世代が生まれ育った地域に戻って来たい、地域でできるアイデア

背景と課題

背景

- ・若い世代が地域に戻る環境をどうつくるか
- ・若者が地域と関わり続けるための環境整備が不可欠であるとの認識

課題

- ・人脈の不足（地域内外での交流ネットワークの未構築）
- ・場所の不足（若者が活動しやすい拠点や居場所の整備不足）
- ・人材の不足（地域のリーダーやサポート人材の不足）

プロジェクトの目指す未来

学生が「八王子に戻りたい」環境の創出

- ・インターンを通じて得た経験や人脈が、卒業後の地元回帰を後押し
- ・若者が地域に戻りやすい環境を整備
- ・子育て支援や空き家活用の促進
- ・地域の人材不足の解消
- ・若者の地域流出を防止し、持続発展可能な地域の堅持

具体的な仕組み

1. コストと実現可能性

低コスト運営

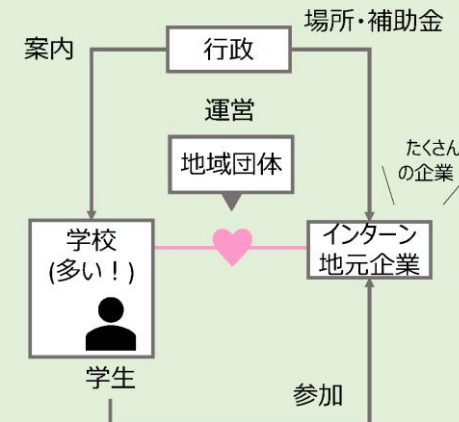
- ・学生や地域に関心のある人々の参加により、経費を抑制可能

補助金活用

- ・東京都や行政の助成金を活用し、資金面を支援

2. 共創のパートナー

たくさんの八王子企業 インターンプロジェクト



お祭り情報サイト「ワッショイ八王子」

グループNO

5

グループ名

コンボタ祭り

選択テーマ

C：地域のお祭りを若い世代に継承していくためのアイデア

背景と課題

背景

祭りの継承は地域文化を守る上で重要であり、グループ内でも賛成意見が多く最も包括的なテーマと判断

課題

1. 時間がない

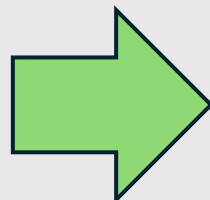
若い世代は仕事や勉強で忙しく、祭りの企画や運営に割く時間がない

2. 関心が薄い

娯楽が多様化しており、祭りが若い世代にとって必須のイベントではなくなっている

3. 運営方法が見えない

祭りの運営や企画方法が若い世代に伝わっておらず、関わり方が分からないため、参加が難しくなっている



具体的な仕組み

八王子市内のお祭り情報を網羅したポータルサイト『ワッショイ八王子』での機能

1. 企画運営の募集フォーム

- ・祭りの役割を分担（例：「だしを引く担当」「模擬店の運営」など）し、部門ごとに募集

- ・役割を明確にすることで、参加のしやすさを向上

2. 参加期間の案内

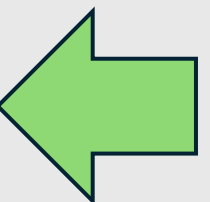
- ・準備期間やスケジュールを明確に記載

- ・「時間があるときだけ参加する」という柔軟な参加スタイルを提案

3. コンテンツ募集フォーム

- ・若者が関心を持つオリジナル企画（ダンス、アート展示など）を募集

- ・特設ステージや特別展示エリアを設置し、多様な活動を取り入れる



プロジェクトの目指す未来

1. 世代を超えたつながりを生み出す

2. 若者たちの地域に対する愛着と誇りの醸成